

学務系職員の基礎力講座 ー教職協働における事務職員の役割ー

■講師

三好 信幸（徳島大学 学務部長）

昭和 53 年徳島大学に採用。医事系、会計系、庶務系及び学務系の業務に従事し、徳島大学教育企画室長、教育支援課長を経て平成 29 年 4 月から現職。国立大学法人化後は主に FD、教育改革等の支援を担当。

福川 利夫（徳島大学 学務部 教育支援課長）

昭和 58 年香川医科大学に採用。阿南工業高等専門学校、徳島大学において医事系、職員系、会計系、学務系、設置準備室の業務に従事し、大学改革推進課専門員、教育支援課副課長を経て平成 29 年 4 月から現職。

宮川 純子（徳島大学 学務部 学生支援課副課長）

昭和 62 年鳴門教育大学に採用。徳島大学に異動後は主に学務系の業務に従事し、医学部学務課専門員を経て平成 28 年 4 月から現職。JCDA 認定 CDA（キャリア・デベロップメント・アドバイザー）、特定非営利活動法人日本接遇教育協会認定接遇マナーインストラクター。

■プログラム概要

「大学のガバナンス改革の推進について（審議まとめ）」（平成 26 年 2 月 12 日 中央教育審議会大学分科会）において、各大学による一層の改革が求められる中、事務職員が教員と対等な立場での「教職協働」によって大学運営に参画することが重要であるといわれています。

また、大学設置基準等の一部を改正する省令（平成 29 年文部科学省令第 17 号）が平成 29 年 4 月 1 日に施行され、大学の総力を発揮した円滑な大学運営のためには、教員と事務職員等とが連携・協働して業務に取り組むことが重要であり、教員と事務職員等との関係に係る各大学の実情に十分に配慮しつつも、教職協働の必要性について法令上明記されました。

本プログラムでは、学務系職員として大学等を取り巻く環境を把握し、グループワークを通して、教育改革や学生支援等にどのように関われるかという課題等を共有し、学務系職員としての基礎力向上を目指します。

■主な受講対象

- ・学務系職員で業務遂行に当たり課題を感じている職員。
- ・学生の成長に深い関心をもっている職員。
- ・将来、学務系の業務に携わりたいと思っている職員。

■本プログラムの到達目標

1. 高等教育政策の概要及び関係法令と学内諸規定との関連を説明することができる。
2. 教職協働における現状を把握し、課題を明確にできる。
3. 業務改善への意識をもつことができる。

■日時・場所

日時：平成 29 年 8 月 25 日（金）13：00～15：00

場所：徳島大学常三島キャンパス